

## 第34回リレートーク「タロットカードの不思議」

ミスティ・ローザ(山内 広美さん/元日本タロットカード占術協会副会長)

タロットカードというのは、カードを使っただけの占いということですが、日本では占いでしか使いませんが、本来はゲームです。トランプの発展形がタロットカードゲームです。ヨーロッパではジプシーがトランプ占いをしていましたが、タロットも占いに転用されて発展しました。14世紀ごろヨーロッパで生まれて、19世紀後半から20世紀にかけて、ロンドンでGolden Dawn(黄金の夜明け)という市民のサロンみたいなもので研究され、ユダヤ教神秘主義(カバラ)をタロットに当てはめて、いまのような形になったのが1909年で、これがベースになっています。

タロットには大アルカナというカードが22枚ありますが、トランプのジョーカーに当たり、ゼロから21まで、小アルカナはトランプと同じで1から10まであります。トランプは絵札が3枚ですが、タロットは4枚になります。ページという人物札がトランプにはないものです。これが4通りで56枚、それと大アルカナ22枚で78枚になります。

カバラは歴史が古くて、5000年以上前からあったと言われ、自然なものに意味を持たせたということがあった。それにエジプト神話、ギリシャ神話、ケルト神話などのエッセンスを吸収して、占いに使えるようにしていった。カード自体は新しいものですが、思想は古いものです。



タロット占いは、いま直面していることに対する答えやこれからどうなっていくんだろう、ということについて知りたい時はとても有効です。結婚したいけれどもできるでしょうか、という場合はとても使いやすいです。でも、10年後結婚しているかしたら、という、長い期間のことについては占星術でやるのが適しています。

占いには、得手不得手があります。タロットはいま抱えている悩みに答えがほしい場合に有効で、答えがやすいし、よく当たる、と言われます。どうして当たるのかは、私にもわかりません。何か見えてるでしょ、と言われるかもしれませんが、なんも見えてません。タロット占いはカードを並べて、それをどう読み取るかということが大事になります。カードは「読む」ものです。意味をくみ取って読む、ということです。



欧米のサイトを見ますと、私は、タロットリーディングをします、と書いてあるように、タロットは「読む」ものです。ですから、才能が必要になります。間違っただけリーディングreadingをすると間違っただけ解釈をし、ミスリード(mislead)することになります。

ミスリードしないためにはセンスが必要で、センスがなければ、プロ失格です。本を見ながらカード一枚一枚の意味はわかりますが、全体としてどう解釈するか、ということは本を読むだけではわかりません。私は、高校2年のとき、始めてタロットを触りました。当時は本は売られてなくて、カードについている英語のブックレットを読みましたが、Readingをするためには、英和辞書では足りなかったため、図書館で英英辞典を使って翻訳をしていました。

タロットは欧米で作られたものですから、欧米文化の知識も必要です。このカードは喧々囂々言っていますが、日本ではいいことではないと考えられますが、欧米ではみんな言いあっていい方向へ行く、ということです。

日本と欧米の違いを考えて解釈をする必要があります。その結果、わかりにくいこともあります。

タロットは簡単ではありませんが、それだけに面白みもあります。みなさんもなにか悩み事がある時に、一度タロット占いを試してみたいかどうでしょうか。

では、これから、実際に占ってみたいと思います。気になることとか、これはどうなるの、と思っ

ていることはありませんか？  
(以下略)



2017年4月  
第35号

みたか 三鷹市民の集いの場  
みんなの広場

みたか・みんなの広場運営協議会  
三鷹市下連雀4-5-19  
http://minnannohiroba.web.fc2.com/  
☎080-1362-5359 なりきよ

### おおた高齢者見守りネットワーク“みまーも”の奇蹟と軌跡 みまーも発起人 澤登 久雄さん

大田区地域包括支援センター入新井にて 2017年1月16日

地域包括支援センターが創設された当時は、月間相談件数500件、その間にケアプランを作成するという業務に追われていました。そうではなくて、元気なところから日常的に包括や専門職が地域に暮らす、そういう元気な人たちとかかわる・つながる仕組みをつくらないといけないということを考えたのがスタートですよね。

一人一人にいかにか支援ができるかということが、もともと僕たち専門職の考え方ですが、そうではなくて、街全体に専門職として何が出来るのかという発想の転換をしなければいけない、やりだしたときの一番の大きな障害はそこでしたね。発想の転換でした。

協賛をしてくれる人たち、NPOや企業の人たちと話し合っているとき、地域住民向けのセミナーを開催しようという話になり、くそまじめな話をしたって。住民の人がでてこないよとか、来てもらうにはおみやげとか必要じゃないのとか、そういう意見が出るわけです。でも、当時の自分たちはそれをよしとしないわけです。「よかれと思っただけやるものに対して、何で低める必要があるのか。」とか。でも、実際には発想を変えなければ無理でした。その発想の転換が一番たいへんでした。

地域と日常的につながるためには、専門職の鎧を脱がないといけませんね。包括支援センターといういろいろな人たちがいる中で、自分たちはどういうふうな地域とのつながりを作っていくのか、理念とか、目的の共有なしにはいっしょに喜び合ったり、達成感を得られたりとかはできないと思うんです。みんなが専門は違っていますが、なにかをやるために力を合わせるということを明確にしていれば、職種が違ってても、共有できるはずですよ。

く協賛でデパートの方とつながったのはどういう事情ですか？

私たちの母体は牧田総合病院という地域に根差してもう7~80年ぐらいになる地域密着の普通の病院なのです。その病院が地域とのいろいろなつながりを大事にしてきたという風土はあったんです。



毎年の商店街でのお祭りで、若手がいなくて、牧田さんの若手の職員が来てもらえないかな、とかいう関係があったのだと思います。

ダイシン百貨店さんというのも、大森密着で6~70年やってきた百貨店で、もともと関係があったのです。協賛と言っても、最初から全然知らないところに呼びかけたって、やってくれるはずがないですよ。例えば、常に使える会場ってなかなかありませんが、当時ダイシン百貨店さんの3階の介護用品売り場に80名ほど入るスペースがあったのです。そこを無料で提供していただいて、毎月のセミナーをやるようになりました。セミナーをやることで、買い物客の人たちが、ダイシンさんって、こういうことにも協力しているということがわかるし、終わった後、当然買い物をして帰りますよね。そういうかたちでお互いウィン・ウィンの関係になっています。

く活動の3本柱の一つであるセミナーですが、ミニ講座の講師ってどういう方がやっているのですか？

「みまーも」の活動の3本柱は、ひとつは毎月開催されているセミナー、二つ目は「SOSみまーもキーホルダー登録システム」、そしてもうひとつが「みまーもステーション」という事業です。みまーもステーションは、商店街の空き店舗を改修して、商店街がコミュニティスペースをつくりました(アキナイ山王亭)。でも、休める場所を作ってもそれだけではお客さんは来ないわけですよ。ソフト事業をやらないといけない。

## おおた高齢者見守りネットワーク“みまーも”の奇蹟と軌跡

僕たち「みまーも」は、常に使える場所がほしかった。その結びつきが、いま、東京でJR駅が一番近い商店街の店舗で年間350講座をやるようになりました。

いろいろな講座をやっていますが、年間350講座を4～5年続けてこられているのは、90を超える協賛の方たちが自分たちの得意分野で講座をやってくれている結果です。

みまーもステーションの事業をやるときに「みまーもサポーター」という制度をつくったのです。3～4年ぐらい前から参加者が100名を超えるようになって、普通うれしいと思うんですけども、なんか物足りなくなりました。

せっかく100名を超える住民のひとたちが、このセミナーに来てくれているのに、住民の人たちは参加者というお客さんでしかない。この100名の人たちがもっとわが街で主体となれるような取り組みができないかなど考えてステーション事業を始めたというのもあるのです。

「みまーもサポーター」という方たちは「みまーも」の活動に協力してくれる住民の応援団です。いまでは100名弱のサポーターの方々がいっぱいいます。80歳以上の方もたくさんいらっしゃいます。これって、最高の介護予防ですよ。

「みまーも」のイベントとか講座に協力してくると、2時間以上1回につき500円の商店街の商品券を差し上げています。商品券にしているのは、商店街にお金を落とすことになるからです(笑)。

最初は参加者としてかかわっていただく。でも、気が付いたら、自分たちの眼が他者に向くようになって、いつしかこの地域での活動に取り組んでくれるようになる。いくつになっても、生きがいややりがいをわが街で見出している人って、それが一番の介護予防になると思います。

＜みまーもの窓口は包括支援センターがやっているのですか？＞

事務局は、この包括でやっています。包括というところは公的なところで、なにかやらなければいけない場合、住民の人たちに協力をお願いするという、ある意味で、上から下へというかたちになりがちです。でもそれって、住民の人たちにとっては、また新たなお願いが増えてくることになるじゃないですか。

それもやりましたけれども、実際にはあえて、少し距離を置きながらやってきました。その特徴的なことが「みまーもサポーター」というかたちでやってきたことです。

私たちの目標は、「気づきのネットワーク」と「対応のネットワーク」という二つのネットワークをつくることによって、見守りネットワークというものをこの地域につくっていかうということです。「みまーも」の組織は、ゼロからはじまっているので、最初の段階から既存の組織と一緒にやることによって私たちがぶれてしまう可能性を感じたので、距離を置きながら、必要な部分での連携ということはさせてもらいながら、やってきました。みまーもサポーターというかたちでそういう人に声をかけてつなげていった。それを継続していけば、最初は月に4～5人だったとしても、50人100人になってくるわけですね。

### 高齢者見守りキーホルダー

「外出先で突然倒れて救急搬送されてきて、身元を証明するものを何も持っていないことが多い。」という救急隊の方の経験から生まれました。

キーホルダーの両面には包括の電話番号と個人のID番号が書かれています。包括では、連絡を受けると、すぐ対応ができるのです。

このキーホルダーのおかげで安心して外出できるようになったということです。



私たちも、ここまで来るのに、10年かかっているのです。大事なことはここまでできたということ、自分たちで整理しないとけないことだと思います。

2年目のときにキーホルダーをやり始めた。3年の節目ではステーション事業というものはじめた。1年1年、ここまでできた、じゃ、次はどうするか、どういうふうにしていこうか、というふうに、最終目標である気づきのネットワークと対応のネットワークをしっかりとつくりたいという目標に向かってやってきました。

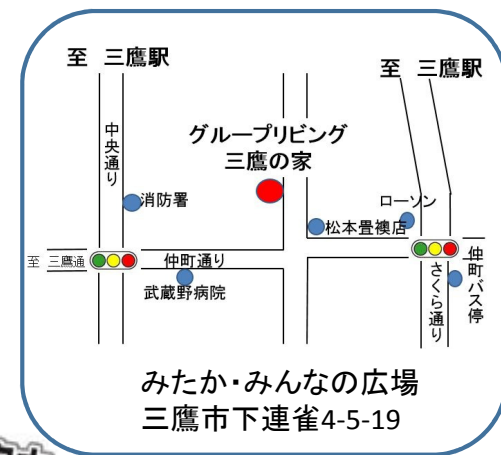
ひとつだけ言えるのは楽しさがないといけません、そうしないと新たな人ははいてこないわけですよ。だからこそ、いろんな分野のネットワークができることによって、徳田さん(ライフ出版社長)の「みまーも」の本の題名ですけれど、『地域包括ケアに欠かせない多彩な資源が織りなす地域ネットワークづくり』につながるのですね。多様な人や組織が関わることによって、取り組みも多彩で多様で楽しいおもしろい事業が出来るわけですよ。

(右ページ上へ続く)

(左ページから続く)

「モモと時間泥棒(モモ:ミハヤエル・エンデ(岩波書店))という本を読んだことがありますか? 包括の人ほどあれを読んだ方がよいと思いますよ。気づかないうちに大事な時間を時間泥棒に奪われているんですよ。

共感の中からはしか主体は生まれない。いま、生活支援コーディネーターが作らなくてはいけないのは地域の人たちの主体性なんですよ。そこを見ずして何をつくろうとしているんですか、ということなんだと思うのです。そのように思いながら、これまでやってきました。



## みたか・みんなの広場 催しのご案内

開催日時	テーマ	参加費用	主催・問い合わせ
4月1日(土) 15:00~16:00	鉄ちゃん、集合! 私は乗り鉄、あなたは、撮り鉄? 中学生以下100円、大人300円(毎月第1土曜日)		みたか・みんなの広場 鈴木 ☎080-1022-2281
4月5日(水) 13:30~15:00	みたかオレンジカフェ 認知症、高齢者介護なんでも相談 無料(毎月第1水曜日)		みたか・認知症家族支援の会 石村 ☎080-6627-3551
4月6日(木) 11:00~13:00	足もみ健康法(リフレクソロジー)~感じよう! あなたの身体~ 30分 2000円~(予約優先)(毎月第1木曜日)		中村 080-6507-1959
4月8日(土) 13:30~15:00	般若心経カフェ:インドでお釈迦さまが始められた仏教を中心に 仏教全般を考えます。(毎月第2土曜日500円)		みたか・みんなの広場 なりきよ ☎080-1362-5359
4月15日(土) 13:30~15:00	タロット占い:自分自身を見つめ、あしたの自分に進むために 3,000円/30分(毎月第3土曜日、前日までに予約)		日本オトカード 占術協会 副会長 ミスティ・ローザ ☎080-1362-5359(なりきよ)
4月21日(金) 10:30~12:00	シニアの働き方を考える (要予約)	無料	わくわくサポート三鷹 霧島 ☎0422-45-8645
4月24日(月) 13:30~15:00	リレートーク 高齢者と歯の健康 (根元 祐子さん:ふれあいデンタルクリニック院長)		みたか・みんなの広場 なりきよ ☎080-1362-5359
4月25日(火) 19:00~21:00	たどきオレンジカフェ・みたか 認知症、高齢者介護なんでも相談 無料(毎月第4火曜日)		みたか・認知症家族支援の会 石村 ☎080-6627-3551
4月27日(木) 14:30~16:00	親子で楽しむ科学あそび「ストロー工作 その1」 (1家族200円、3家族8人まで、要・電話申し込み)		三鷹科学遊びの会 石村 ☎080-6627-3551
毎週火曜日	マッサージ教室 (外反母趾対策)	主催者までお問い合わせ ください。	篠山(しのやま) 090-9694-5884
毎週土曜日 10時	シニアに最適:ノルディックウォーキング (参加無料)	主催者までお問い合わせ ください。	なりきよ(みたか・みんなの広場) ☎080-1362-5359
お休み	茶話会「これからのいろいろを話しましょう」 (毎月第3木曜日)		HumannLoop“人の輪” 竹内 ☎090-7632-7251

NPO法人Humanloop“人の輪”  
http://humanloop.web.fc2.com/

みたか・認知症家族支援の会  
http://mitakanfs.blog.fc2.com/

三鷹市医療と福祉をすすめる会

NPO法人グレースケア機構  
http://g-care.org/

NPO法人日本シニアジョブクラブ  
http://jsjc.web.fc2.com/

三鷹科学遊びの会